

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

2019年
1月発行

No. 172

リビング・ウイル

新春対談

松尾幸郎さん

岩尾總一郎
理事長

最期のあり方は
これでいいのか？

○支部活動のお知らせと活動報告

○明石のぞみ・受容協力医の地域活動

○連載「四季の歌」冬景色



ACP、死の権利…… 問われる協会活動の真価

理事長 岩尾 總一郎



写真／白谷達也

新年あけましておめでとうござい
ます。今年4月には「平成」が終
わり、5月からは新しい年号が始ま
る節目の年になります。

協会会員の皆さま、いかがお過ご
してでしょうか。現在、会員数は約
10万9000人で、協会設立以来の
延べ人数では26万7000人に上り
ました。現在会員の平均年齢は78・

5歳。最近5年間の新入会者の平均
年齢は71・7歳ですが、30年前の入
会者の平均年齢は63・7歳でしたか
ら、今より8年ほど若くしての入会
だったことがわかります。ちなみに
入会から死亡退会までの期間は12年
4カ月になっています。

昨年の出来事を、まず国内から振
り返ってみます。3月に厚生労働省

が「人生の最終段階における医療・

ケアの決定プロセスに関するガイド
ライン」を発表し、アドバンス・ケ
ア・プランニング（ACP）の普及
に乗り出しました。ACPとは、患
者本人と家族が医療関係者や介護提
供者などとともに、現在の病気につ
いてだけでなく、意思決定能力が低
下する場合に備えて、あらかじめ、

終末期を含めた今後の医療や介護に
ついて話し合うことや、意思決定が
出来なくなったときに備えて、本人
に代わって意思決定をする人を決め
ておくプロセスを意味しています。
ACPにより作成される文書は、本
人が、家族、医療関係者、介護提供
者と話し合った結果に基づいて作成
される書面であり、医療施設や介護
施設にのっての事前指示書に該当し
ます。

地域での草の根活動に ご参加とご協力を

協会のリビング・ウィル（LW）
は、病気のあるなしにかかわらず、
いつかは理性的判断ができなくなる
ことがあることを想定し、自分自身
の人生の終末期には、このようにし
て欲しいと希望を述べておく書面で
すから、特定の医療施設や介護施設
を想定しているものではありません。
当然のことながら、会員のLW
はACPの中に織りこむことができ
ますので、入院、入所の際はLWを
施設側にお渡しください。

海外に目を向けますと、昨年は2
年ごとに開催される「死の権利協会

世界連合」の総会が南アフリカのケ
ープタウンで開催され、世界連合の
理事として出席いたしました。この
2年間、海外では、ローマ法王の尊
厳死を是認する発言（この結果、イ
タリアでは終末期の延命措置中止が
法制化）があり、カナダでは安楽死
合法化、オーストラリアではビクト
リア州での自殺ほう助法成立の一方
でニューサウスウェールズ州では1
票差で否決されるなど、「死の権利」
についての法制化の動きが各国であ
りました。世界の尊厳死法制化の動
きと日本での法制化の動きに大きな
ギャップを感じる年でもありまし
た。私は3期6年の世界連合理事任
期が満了しましたので、四国支部長
の野元正弘協会理事を後任として推
薦し、アジア地域代表として執行部
入りしました。

「超高齢多死社会」の今、私たち協
会活動の真価が問われます。今年
は理事・評議員の改選年にも当たりま
す。協会会員の皆さまには、より多
くの方に広く知っていただけるよう
な、お声かけやお誘いなど、地域で
の草の根活動にご参加とご協力を、
切にお願いいたします。



新春対談

松尾幸郎さん

岩尾總一郎 理事長

松尾幸郎

(まつお・ゆきお)

1936年、富山県滑川市生まれ。富山高校、早稲田大学政経学部へ学び、20歳代でアメリカに留学。商社マンとして45歳から20年間ニューヨークに駐在し、商社ヤマタネのアメリカ法人社長を最後に退職。2001年に故郷の富山に戻るが、2006年、妻(卷子)が自動車事故に遭い全身まひに。まぶたの開閉しかできない妻との闘病記は『卷子の言霊』(柳原三佳著・講談社)として出版され、NHKBSのドラマにもなり話題に。2012年、スイスで開催された「死の権利協会世界連合」で日本人代表としてスピーチ。2015年、長女が暮らすアメリカのニューメキシコ州に移住。現在も意欲的に翻訳等の活動続ける。

最期のあり方は これでいいのか!

「病院で24時間、ただ天井を見るばかりの8年間でした」と妻・卷子さんとの闘病の日々を語る松尾さん(82)。

書籍やテレビドラマにもなったその物語や、西部邁さんの自裁という形での最期の問題提起、

「終の棲家」への思いなどについて、岩尾理事長と熱く語り合った。

構成／会報編集部・郡司武 写真／岩尾總一郎

岩尾 松尾さんには、この会報「リビング・ウイル」の一部を英文に翻訳していただき、協会では、それを海外読者に向けて発信しています。私とは、2012年にスイスで開かれた「死の権利協会世界

連合」の総会でご一緒し、それからずっと、この翻訳をお願いしていますから、もう7年ですね。

松尾 そうなりますね。私は商社マンとして20年ほどアメリカに暮らしておりました。そして65歳に



なった2001年に引退して、妻の卷子の希望もあり、二人の故郷の富山に戻りました。老後はゆっくり、生まれ育った富山で過ごすこと。

ところがその5年後の2006年に、卷子が交通事故に遭いました。普通なら即死でしょうが、救急車で富山大学の救命室に入り、一命は取り留めたものの、全身まひで、手足も首も動かない。

声帯を損傷して声も出ません。人工呼吸器や胃ろうを装着し、24時間寝たきりの状態になってしまいました。これから二人でのんびり過ごしていこうと思っていたのに……。私は毎日病院に通って看病しました。まさに毎日毎日勝負でしたね。

岩尾 そうでしたか。手も動かないし声も出ない卷子さんとのコミュニケーションは、どのようにさ

れてたんですか。

松尾 体は動かないけれど、卷子の意識は幸いはずきりしてましたし、耳も目も大丈夫でしたので、会話補助器というのを使って、たった一つ動く喉のまばたきを「信号」にコミュニケーションをとりました。そのあたりのことは、2010年に、交通事故などに詳しいジャーナリストの柳原三佳さんが『卷子の言霊―愛と命を紡いだ、ある夫婦の物語』(講談社刊)と題して刊行され、それが原案になって、NHKBSのドキュメンタリードラマ「まばたきで愛しています―卷子の言霊」(2012年放映)にもなりました。

岩尾 たしか木内みどりさんが卷子さんの役でしたね。木内さんは会報のインタビュにもご登場いただき、そこで松尾さんについて「交通事故被害者の悔しい思い、

終末期医療に対する法整備のない日本の状況を、看病しながら世に訴える運動を続けられた。わたしの敬愛する日本人です」と話されています。松尾さんの役は、亡くなられた夏八木勲さんでした。

「私が訳さないで誰が訳すのか」

松尾 そうでしたね。木内さんは「(卷子役は)女優という枠を超えた得難い体験だった」と、あとでおっしゃっておられました。ありがたい言葉です。

卷子と私は「マミー」「ダディ」と呼び合っていました。ある時、まばたきでのコミュニケーションで、「ま・み・い・を…」と、懸命にまばたきを繰り返して、それに続いて「こ」が現れたんです。心臓がドキドキし、鼓動が突然早まるのを感じました。そして「ろ」が選択されたとき、怖くなりました。「ま・み・い・を・こ・ろ」して「く・く・だ・さ・い」。私は

思わず、ナースコールを押ししていました。

その卷子は2014年の5月に亡くなりました。病院で24時間、ただ天井を見るばかりの8年間でした。私はその間に、日本尊厳死協会のことを知りまして、そこから岩尾先生との出会いが始まったわけです。

岩尾 そうでしたね。スイスの世界大会の総会で松尾さんは、「Search of Gentle Death」の著者 Richard Cote とお会いになり、その400ページにもなる大部の翻訳をしようと大変な努力をなさっていましたね。『安らかな死を探し求めて』というタイトルで、3年前にアマゾン社から自費出版されましたけど、その強い動機は

『こ・ろ・し・て・く・だ・さ・い』に 心臓の鼓動が突然早まり……(松尾)

何だったんですか。

松尾 卷子のような最期の生き方がはたして良いのか、世界に似たような事例はないのか、それが関心の中心でしたね。著者はアメリカのジャーナリストで、5年かけて各国を回って、「尊厳ある死」に関わる運動家とか患者、家族に取材してきた人です。そこには卷子の死の方と共通共有するものがありましたので、もっと多くの人に知ってもらいたいという思いが次第に強くなり、「私が訳さないで誰が訳すのか」という思いから翻訳を始めたわけです。毎日毎日、病院から帰って翻訳を続けました。1年半かかりました。

「西部邁氏の思いは私もよくわかります」

岩尾 なるほど、そうでしたか。日本では先ごろ、評論家の西部邁さんが、自殺という自裁という形で亡くなり、各方面に重い問題提起をしました。そのことについて松尾さんも、ちょっと書かれていますね。



「娘の家とは10軒離れていて、孫たちの世話が日課になっています」と話す松尾さん

松尾 西部氏は「僕は、死すべき時は、取るべき方法で死ぬ、それを僕は Simple Death（簡便死）と呼んできました」と述べてるんですね。西部氏のような主張はまさに「死に方の選択の権利」であって、西部氏一人の独創的な主張ではなくて、世界には同志がいっぱいいます。私としては、まず私の翻訳した『安らかな死を探し求めて』を読んでいただきたいかった。西部氏は北海道出身で奥さんも同郷です。いろいろ相談しながら講

演や著作をしてきたという、その奥さんを数年前に亡くされた。私も4年前に同郷の妻を亡くしました。西部氏は、いつしか後を追いたいという気持ちがあります。強くなっていったんじゃないでしょうか。「人生を全うした」という思いは、私もよくわかります。

松尾 著者はアメリカの看護師で、副題に「死に向かうプロセスを理解するためのガイドブック」とあります。この本は、医者や看護師、介護士だけが知っていればよいという本ではないと思えました。みんなが読んで、「死に向かうプロセス」とはこういうことなのか、食欲や呼吸、睡眠はこうなっていくのか、ということを知っておくべきだろうと思って、世に送ろうと決めたんです。タイトルですけど、直訳すれば「小川を渡る」です。日本なら「三途の川」が頭に浮かびます。著者は小川を渡って次の世界に行くという思いからこの題にしたわけで、まさに「三途の川」ですね。

は安いし、住むにはいいところだと思えますね。私の場合、ここに来たのは、あくまでも娘や孫がそばにいるということからです。

ているんですか。
松尾 ここでは主治医（ファミリードクター）をまず決めないといけない。その主治医からそれぞれ病状に合った病院を紹介されるシステムになっています。最初、断られてはね。「もう十分に患者はいるので手に負えない」と。でも、やっと主治医が決まりました。

ました。1階にある寝室の窓から、3000m級のサンディアアマウンテンの山並みが見えるんです。裏庭に日本風に池を造り、コイと金魚を飼い、借景としてこの山が見

える。私が生まれ育った富山の立山連峰に似たような山並み…。そんな故郷に似たところで、娘や孫に看取られて死ぬ。そう思い定めています。

松尾 そういう施設はありますけれど、規模は小さいようですね。
岩尾 医療体制やケアはどうなっ

松尾 この家を買ったのは、実は3軒目でした。前の家はどうもしっくりこなくて。この家に出会った時に「終の棲家はこれだな。この家で死にたい！」と思って決

「故郷の立山連峰に似た山並みを借景に」

た。この家を買ったのは、実は3軒目でした。前の家はどうもしっくりこなくて。この家に出会った時に「終の棲家はこれだな。この家で死にたい！」と思って決



娘夫婦と孫2人に囲まれて

娘や孫の近くで老後を過ごすというのは一番幸せかもしれないね（岩尾）



サンディアアマウンテンの山並みをバックに日本風庭園が潤いと郷愁をかもし出す（撮影・松尾幸郎）

私の希望表明書

私は、協会発行の「リビング・ウィル（終末期医療における事前指示書）」で、延命措置を受けたくないという意思をすでに表明しています。それに加えて、人生の最終段階を迎えた時に備え、私の思いや具体的な医療に対する要望をこの文書にしました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 年 月 日 本人署名

希望する項目にチェックを入れました。

1. 最期を過ごしたい場所（一つだけ印をつけてください）

- 自宅 病院 介護施設 分からない
その他（ ）

2. 私が大切にしたいこと（複数に印をつけても構いません）

- できる限り自立した生活をする 大切な人との時間を十分に持つこと
弱った姿を他人に見せたくない 食事や排泄が自力でできること
静かな環境で過ごすこと 回復の可能性があればあらゆる措置を受けたい
その他（ ）

※以下「3」と「4」は、「ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りします」という表現では伝えきれない希望や、「止めてほしい延命措置」の具体的な中身を明確にするためのものです。

3. 自分で食べることができなくなり、医師より回復不能と判断された時の栄養手段で希望すること（複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。）

- 経鼻チューブ栄養 中心静脈栄養 胃ろう 点滴による水分補給
口から入るものを食べる分だけ食べさせてもらう

4. 医師が回復不能と判断した時、私がして欲しくないこと（複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。）

- 心肺蘇生 人工呼吸器 気管切開 人工透析 酸素吸入
輸血 昇圧剤や強心剤 抗生物質 抗がん剤 点滴

5. その他の希望

【用語の説明】

●**心肺蘇生**：心臓マッサージ、気管挿管（口や鼻から気管に管を入れる）、電気的除細動、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与などの医療行為。

●**人工呼吸器**：自力で十分な呼吸ができない状態の時に、肺に機械ポンプで空気や酸素を送り込む機器。マスク装着のみで行う場合もあるが、重症の際はチューブを口や鼻から入れる気管挿管を行う。1～2週間以上続ける場合は、のどに穴を開ける気管切開（喉仏の下から直接気管に管を入れる）をしてチューブを入れる。

●**胃ろうによる栄養補給**：内視鏡を使い、局所麻酔で胃に管を通す手術を行う。その管を通して栄養を胃に直接注入すること。

「死の権利協会世界連合」の理事に就任して

リビングウィルの正しい理解へ広報が必要

愛媛大学医学部客員教授（日本尊厳死協会理事） 野元正弘

この初秋に、1976年から2年ごとに開催されている「死の権利協会世界連合」に出席しました。私は2010年の東京大会以来で2回目の参加。今回は南アフリカのケープタウンでの開催でした。經由したシンガポールは日本と同様に暑かったのですが、到着した南アフリカは冬で、外出にはコートが必要になるほどでした。

安楽死合法化の国は少数派

会議は9月6日に始まりました。岩尾総一郎・世界連合理事の6年間の任期満了に伴い、私が後任として推薦され、翌日の総会で承認されました。また新たに参加を希望する2つの組織がプレゼンテーションを行いました。討議の結果、今後2年間の活動を注視して次回に審査することとなりました。会議では、悪性脳腫瘍のため安楽死を希望してカリフォルニアから

この「死の権利協会世界連合」は日本が提案し、第1回大会を東京で開催して始まっています。一つの国から複数の団体が参加しており、いずれの団体も「living will」を尊重する点では一致していますが、目指しているところは異なっており、情報交換を主な目的とした参加条件の緩やかな団体です。日本尊厳死協会は「living will」を尊重し、

望まない延命治療を行わずに自然死を選択する団体ですが、現在「世界連合」を主導するグループは、安楽死の合法化を目標としています。その安楽死の合法化にも複数の目標があり、主流は死が間近で避けることができないときには医師の診断と援助のもとに自らが服薬して安楽死するもので、死期は半年以内を条件としています。安楽死を合法化している国や地

域はヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアで、世界全体では少数派です。安楽死合法化の活動の趣旨は「慈悲と思いやり」が基本となっており、自殺ほう助は日本を含め多くの国では犯罪とされており、延命治療を希望しない「living will」とは異なるものです。混同されやすいので、引き続き広報が必要となるでしょう。



世界大会に出席した野元正弘氏（左）と岩尾総一郎氏



世界各国からの参加者で会場は熱気に包まれた

LW受容協力医師制度の展望

ルポ——「高齢者本人の意思はどうなのか」をさぐりつつ 多摩ニュータウンの高齢者医療に寄り添う

若かった街にも高齢化が進行する多摩ニュータウンで、30年近く、「24時間365日体制」のチームケアを提供し続ける天本病院の明石のぞみ医師。その活動と意思をルポする。



多摩ニュータウンの高齢者医療の
パイオニア・天本病院

東京・多摩ニュータウンの小田急唐木田駅から歩いて5分ほどにある天本病院は、地域の高齢者医療・介護のトータルケアサービス拠点病院だ。

1980年に開設された当初から、「高齢者本人の意思を尊重し、高齢者にふさわしい医療を提供したい。認知症になっても地域で最後まで過ごせるような支援をした」との思いをずっと追及してきている。そんな天本病院に明石のぞみ医師（62）がやってきたのは29年前。開設して9年目のこと。33歳の若き女医は、聖マリアンナ医大の医局からの派遣という形

だった。

「不純な動機だったんですよ。結婚して子どもが生まれ、まだ小さかったので『勤務は9時5時。自宅から近くて、当直なし』という条件を自分なりに考え、それに合っていたので、ラッキーと思ってきましたんです」と当時を振り返る。天本病院の医局時代は、実母や義母の助けを借りて、なんとか育児と両立させてはいたが、「大学病院で働きながら乳飲み子を育てるのは無理なのかな」との弱気も少し頭をもたげていたところに、タ



医療法人の副理事長と多摩事業部の責任者を兼ねる明石のぞみ医師。受容協力医師には松根敦子・元尊厳死協会副理事長に誘われて2002年から。玄関には地域からの感謝状が掲示されていた(写真上)

摩ニュータウンの高齢者医療・介護のまさに中心・パイオニアとして大きく成長していく。

「家族に迎合してると ような医療では」と

一方の明石医師も2016年に天翁会の理事長に就任、その年に東京・阿佐ヶ谷を拠点とする社会医療法人河北医療財団と合併。現在は、その副理事長であり、多摩事業部の事業部長も兼務する。この1年、ここ多摩事業部だけで302人を看取った。訪問診療で111人、訪問看護で57人、天本病院で81人、老健施設で41人など。ほぼ1日に1人を看取っていることになる。

高齢者医療は、常に看取りを伴う。「そこで最も大事なことは？」と問うと、明石医師は「リビングウイイルですね。高齢者本人の意思をどう捉え

けど、ご家族を含めて信頼関係を築き上げていくことが何よりも必要なんだなあ、と実感させられました。その時の経験が、ずっと生き続けているという。

年間300人を看取る 地域高齢者医療の中核

1970年代から一大プロジェクトとして住宅開発が進んだ多摩ニュータウンの高齢化は、明石医師がきた1990年当時、すでに見えていて、天本院長からは常々「このニュータウンの高齢化は今後ますます進行する。この街に高齢者医療が無くてどうするんだ。

住み慣れた地域で最後まで暮らしたいという人を支援していくんだ」と言われ続けてきたという。こうした、高齢者が増え往診もあるという「医療環境」ではあったが、明石医師に特に違和感はなかったという。生まれ育った青森・津軽地方で、医師だった父親が僻地医療に奔走している姿を見てきたからだ。ホントは、青森で父の後を継ぐはずだったんですけど、父から『住んでる人が少なくなってしまうから、もう来なくていいよ』って言われましたね」と笑う。

最初こそ「9時5時」の勤務だったが、子どもも少しずつ大きくなり（現在は循環器科の若き女医）、手がかからなくなると、勤務時間の「しぼり」もとれて、天本病院の中核として忙しくなっていた。その天本病院を含む医療法人財団天翁会も、同じ地区に、介護老人保健施設、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、グループホームなど19の事業所を展開し、多摩市内と稲城市の一部を中心とした多



LWのひろば

死の直前に届いた会員証

伊藤敦子 72歳 静岡県

私たちがもし尊厳死協会に入会していなかったら、私は今も後悔の日々を送っていたでしょう。「余命3カ月」と言い渡された夫の苦しみに添うことすらできなかつたかもしれません。悩み苦しみながら様々な本を読み、「尊厳死」に行き着いた夫は、まず半年続けた抗がん剤治療を止めました。

そして、余命をいかに生きるべきかという迷いが吹っ切れ、死に対する恐怖を遠ざけ、残される家族への思いを自分の言葉で伝えることがで



柿の綿帽子
秋を追いやるように
白い冬がかぶさる
撮影/上坂 誠

いのない人生だったでしょう」と言われることです。
ここ30年来、ロードバイクを趣味にして、ヒルクライム(ロードバイクでの登坂競技)やロングライドを楽しむ、時間があれば100キロも

安心、良かったね！」と言いきりながら、それぞれカードに署名しました。記念すべきその日から半年余り、会員証は、夫が夫らしく終止符を打った証であり、私にとっては残りの人生の礎となりました。

一人暮らしを支える読書

吉開靖之 82歳 長崎県

一人暮らしをして22年になります。その間の11年間、両親の希望にそって在宅で介護をして看取りました。世の風潮として、介護の悲惨な面が強調されていますが、私には辛い反面、副産物もいくつかありました。それが今、一人暮らしの生活のなかで私を支えています。

①料理など家事ができるようになりました。両親に食べさせることが喜びを感じ、それまで料理などしたことがなかつたけれど、本で学びました。

②介護中、毎日2時間は自分の時間を持ち、読書に耽りました。医療、介護、料理などの本も読み、読書の幅が広がりました。特に終末期の介護では、気が動転しないように終末期関連の本を読みました。「人間は

150キロも乗り続ける体力もあります。ここ数年で、念願のヨーロッパアルプスヘイタリアのスキー旅行で2回、自転車を楽しむために1回と行ってきました。これからどうなるかはわかりませんが、心構えだけは、貴協会の趣旨を理解し、残る人生を楽しんで生きていきたいと思っています。

「ひろば」の坂本氏に共感

匿名希望 74歳 女性

前々号になりますが、LW170号「ひろば」に「自裁」と「自殺」というタイトルで載っていた坂本勲氏の考え——もはや食事も果たせず下の締めりも無くなって、明らかに終末期に至っているのなら、生きるに執着することなく、自然のものは自然に還すという周りの者の覚悟と潔さ、そして何よりも本人の決断こそが貴重なのではないかと私は思います——に、スカッとしました。

長兄の49日が終わった翌日、次兄の死を知りました。集まった親族の中で尊厳死の話が出ましたが、頭もよく弁も立つ弟に反論され、私はうまく説明することもできませんし

どうやって死んでいくのか」「死に方のコツ」「最新緩和医療学」など。それらによって、肉体的・精神的な苦しみはほとんど緩和されることを知りました。

4年前、尊厳死協会の会員になりました。老いて死にゆく両親の姿を見て、いずれ私もそうなるわけで、だからこそ「存命の喜び、日々楽しまざらんや」と思いました。現在は、読書による偉大な人々との出会いが、私の一人暮らしを支えています。

自由気ままに生きて

梅沢広志 70歳 福島県

70歳を目前にして尊厳死協会に入会させていただきました。以前から尊厳死には興味がありましたが、実際にはよくわかっていなかったかもしれず、ドイツ文学者の池内紀氏の著書を読んで、即入会しました。

私自身、とても優しい女房と結婚し、自由気ままに生きてきました。70歳を過ぎたら、いつあの世に行くことになっても後悔しないようにと思いつながら、今までやってきました。私の望みは、死後、人様から「あれだけ好きなように生きてきたなら悔

た。ももんまとしたとても悔しい思いを胸に、ただ黙って帰宅しましたら、会報が届いていて、坂本氏の投稿を読んだのです。

しかしもう、親族には何も言いません。根本的に考えが違うのですから。私と全く同じ考えを持っている方がいらつしやることを会報で知り、もうそれだけで十分です。親族から「ちよつと変わってるねえ」と言われても、私は私の思いを貫きます。会報に大きな力をいただきました。ありがとうございます。

編集部より

● 投稿の募集 テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの日々」など何でもけっこうです。600字以内で。掲載(写真含む)の方には図書カードを差し上げます。手紙またはファクス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.com)で。

● 写真の募集 4月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送してください。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは2月15日です。

季節を感じさせる1枚の写真と
懐かしい唱歌でつづるページです

四季の歌

— その風景と背景 —

第七回

冬景色

● 文部省唱歌



霧消ゆる湊江の
舟に白し、朝の霜。
ただ水鳥の声はして
いまだ覚めず、岸の家。

鳥啼きて木に高く、
人は畑に麦を踏む。
げに小春日ののどけしや。
かえり咲の花も見ゆ。

嵐吹きて雲は落ち、
時雨降りて日は暮れぬ。
若し燈火の漏れ来ずば、
それと分かじ、野辺の里。

(尋常小学唱歌(五)「大2・5」より)

晩秋から初冬にかけての小さな湊の入江や里の情景をうたったこの「冬景色」は、小学唱歌を代表する1曲。2007年に「日本の歌百選」に選ばれた。1番の「さ霧(狭霧)」「のさ」は接頭語。霧は秋の季語で、その霧が消えた初冬の早朝の入江の張りつめた空気が伝わってくる。白い霜と水鳥の声：目と耳から立ち上がる情景描写は巧みだ。2番は里の集落の穏やかな昼さがり。麦踏み、小春日和が、のどかさを醸し出す。3番は雲が垂れこめ、時雨で薄暗くなった里に燈火がかすかに漏れている。なんとも寂しい初冬の夕暮れ。厳しい冬がそこまで迫っている。

作詞・作曲は不明だが、多くの小学唱歌の名曲を手がけている高野辰之(作詞)、岡野貞一(作曲)とも推測される。高野辰之記念館が郷里の長野県中野市にあり、(免追いし、かの山…)の「故郷」など日本の情景の懐かしさを求めて、多くの人が訪れている。

関東甲信越支部 ☎ 03-5689-2100 ✉ kantou@songenshi-kyokai.com

公開講演会 in 大宮

日程◎3月2日(土)午後1時半～4時半
会場◎ソニックシティ市民ホール
さいたま市大宮区桜木町1-7-5
☎048-647-4159
JR大宮駅西口下車 徒歩3分

テーマ「**穏やかな最後を迎えるために**」(仮)

講師◎鈴木裕也
日本尊厳死協会副理事長 医学博士

テーマ「**住み慣れた地域で人生を安らかに全うするには**
—終末期医療について—」

講師◎杉浦敏之
日本尊厳死協会
関東甲信越支部理事
医学博士



定員◎180人(無料・申込不要・先着順)

《地域サロン》のお知らせ

みなさんでお話する集いです

| サロン in 豊洲

日程◎1月18日(金)午後2時～4時
(開場午後1時半)
会場◎豊洲シビックセンター 8階(第5会議室)
江東区豊洲2-2-18 ☎03-3536-5061
東京メトロ有楽町線・新交通ゆりかもめ豊洲駅下車 徒歩1分
定員◎18人(無料・申込不要・先着順)

| サロン in 相模大野

日程◎2月26日(火)午後2時～4時
(開場午後1時半)
会場◎ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
相模原市南区相模大野3-3-2-301
☎042-701-4370
小田急線相模大野駅下車 徒歩3分
定員◎40人(無料・申込不要・先着順)

| サロン in 本郷

日程◎1月11日(金)、26日(土)、
2月8日(金)23日(土)、
3月8日(金)23日(土)。
いずれも午後1時半～3時
会場◎支部事務所
文京区本郷2-27-8 太陽館ビル5階 日本尊厳死協会内(地下鉄丸ノ内線か大江戸線本郷三丁目下車すぐ) 電話予約が必要です。支部までお願いします。

《公開出前講座》のお知らせ

| 出前講座 in 築地

日程◎3月8日(金)10時～12時(開場9時半)
会場◎中央区立築地社会教育会館 視聴覚室
中央区築地4-15-1
地下鉄東銀座駅・築地市場駅下車 徒歩5分
定員◎60人(無料・要申込)中央区高齢者福祉課
(☎03-3542-4801)

テーマ「**終活講座・リビングウイールについて**」(協会支部理事がお話します)

関東甲信越支部 活動報告

樹木希林さんや大橋巨泉さんを例に熱弁

10月25日(木)午後、大井町駅前きゅりあん大ホールに長尾和宏・尊厳死協会副理事長を講師に迎え、公開講演会を開催しました。300人ほどの聴衆を前に、これだけPRを続けてきてもリビングウイールの普及は精々3%程度であり、法制化の動きも遅々として進んでいない状況も併せて訴えました。

途中、参加者に向け、次のような質問をぶつけました。「がんで亡くなるのと、認知症で亡くなるのとどちらを望みますか?」と聞いたところ、おおよそ7対3で、がんで亡くなるほうを選んだ方が多くなりました。この結果に長尾氏は、鹿児島県の鹿屋市で同様の質問をしたところ、結果は真逆で、認知症で亡くなりたいと答えた人が7割を占めたと話し、それは鹿屋市が街ぐるみ・地域ぐるみで認知症予防やその対策に力を入れていて、認知症への理解がエリアに浸透し、住民の不安を取り除いているから、との解説も加えていました。

最近亡くなった樹木希林さんや川島なお美さん、大橋巨泉さんの最期についてもスライドを交えながら医師の立場から読み解きました。橋田寿賀子さんが雑誌に寄稿した安楽死待望論は協会としては容認していないことや、自然死・平穏死は尊厳死とほぼイコールであることも強調されました。

自身の経験として、本来枯れるように亡くなるのが自然である患者に対し、不必要な点滴を行って溺れさせてしまったように思い、反省しているとの弁もありました。そして最後に、「50代になったらリビングウイールを書きましょう!」と聴衆に呼びかけました。(支部理事・吉成健吉)

北海道支部

☎ 011-736-0290 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.com

冬季講演会

日程◎2月11日(月)午後1時半～3時半(予定)
会場◎札幌エルプラザ(JR札幌駅北口近く)
札幌市北区北8条西3丁目

テーマ「**認知症高齢者の終末期医療**」(仮)

講師◎宮本礼子 医療法人風のすずらん会
江別すずらん病院認知症疾患医療センター長

定員◎300人(無料)

| おしゃべり広場

日程◎1月15日、2月19日、3月19日、
いずれも火曜日、午前10時～正午
会場◎札幌エルプラザの4階研修室
(JR札幌駅北口近く)
定員◎先着20人(無料・予約不要)

東北支部

☎ 022-217-0081 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.com

**| 第31回「仙台駅横
リビング・ウイール 交流サロン」**

日程◎1月25日(金)午後1時半～3時
会場◎「せんだいアエル」6階特別会議室
(JR仙台駅西口 徒歩3分)

テーマ「**知ってください 協会の「尊厳死」登録と「法定遺言書」の違い**

どこが、どう違うのか、目的から費用まで、とことん話し合います。

お誘い合って、どなたでもどうぞ。参加費無料

東北支部 活動報告

**「長寿多死社会」講演のあと
即日入会者が5人**

戦後のベビーブームで生まれた団塊の人たちが、あと数年で後期高齢者となります。わが国の平均寿命は年々伸び、かつてない超高齢多死社会になると予想されています。東北地方も例外ではありません。岩尾総一郎理事長にこの「長寿多死社会」というテーマを示し、演題名をお願いしたところ、「そうだ、長寿だよ、長寿」と納得でした。

講演会や研究会などは、題名、タイトルが命です。せっかく、いい内容でも、得心がゆかないタイトルですと、出かける気がそがれてしまいます。「平均寿命が伸びて、多死社会」でもいいのですが、岩尾理事長にとって「多死」の独り歩きが気になっていたようです。そこに「長寿」が加われば

「長寿多死」となり、悪いイメージ「多死」が払拭されたようです。

10月28日の日曜日、仙台市福祉プラザ「ふれあいホール」で開かれた「第5回 日本リビング・ウイール研究会 東北地方会」は、宮城県医師会、仙台市医師会、河北新報社の後援も得て、「どうする? 長寿多死社会」のテーマで開かれました(写真)。



第1部の基調講演では、岩尾理事長が「リビング・ウイールの勧め—長寿多死社会の処方箋」と題して、わが国の人口動態、医療の対象者など全体像の推移をグラフなどで紹介。日本の人口と医療環境の過去・現在・未来を示した上で、当協会が時代に沿った「リビング・ウイール」を目指し、「長寿社会の処方箋」として役立ってきたし、健やかに生き、安らかな最期を迎えることへの手助けとなっていることを話されました。

第2部の討論では、森田潔(気仙沼市医師会会長)、佐藤富美子(東北大学大学院医学研究科教授)、京野アイコ(主婦)のパネリスト3氏に岩尾理事長も加わり、「長寿多死社会」の処方箋の内容を深めました。

会場には、会員の他に医療・看護職員ら135人が熱心に傾聴し、会終了後に5人もの即日入会者がありました。(支部長・橋村 襄)

日本尊厳死協会 なら設立記念 市民公開講座

テーマ
「死ぬときくらい好きにさせてよ
～『良い人生だった』と、言えるために～」

日程◎2月2日(土)午後2時～4時
(開場1時半)

会場◎奈良市中部公民館5階ホール
(奈良市上三条町23-4)
近鉄奈良駅から徒歩5分、JR奈良駅から
徒歩10分

講演1 平穏死10の条件

講師◎長尾和宏
日本尊厳死協会副理事長・関西支部長
長尾クリニック院長

講演2 人生の最終段階を 自分らしく過ごすために ～転ばぬ先のリビングウイル～

講師◎宮城信行
日本尊厳死協会なら会長、宮城医院院長

パネルディスカッション

「死ぬときくらい好きにさせてよ」
を考えよう ～リビングウイル×ACP～
座長◎四宮敏章

奈良県立医大、緩和ケアセンター長

パネラー◎宮城信行／森本広子 ゆい訪問看護
ステーション所長／小出久美子 飛鳥の会
／竹内奉正 関西支部理事

アドバイザー◎長尾和宏

定員◎350人(無料、先着順)

申込方法◎FAX 06-4866-6375、Eメール、ハ
ガキで、氏名、住所、電話番号、会員・非会員を記
入して支部事務所まで。支部HPからもどうぞ。

第3回 関西リビング ウイル研究会

テーマ「医学生、看護学生と語る
長尾和宏『死の授業』」

日程◎3月16日(土)午後1時半～3時半
(開場1時10分)

会場◎JEC日本研修センター江坂 5階大会議室
定員◎50人(無料、関西支部へ要申込)

サロン交流会

テーマ「人生の最終段階を考える
～尊厳死・安楽死・鎮静～」

日程◎2月23日(土)午後1時半～3時半
会場◎関西支部(担当は小澤顧問)

テーマ「好きなように死なせてくれない
日本の終末期の実態って何？」

日程◎3月23日(土)午後2時～4時
会場◎関西支部(担当は竹内理事)

※定員はいずれも13人(無料、関西支部へ要申込)

定例サロンへのお誘い

日程◎毎月第2、4火曜日 午後1時半～4時
1月8日、22日、
2月12日、26日、
3月12日、26日

関西支部 活動報告

大腸がんになった 医師の話に共感

9月29日の土曜日、和歌山県民文化会館で開か
れた「市民公開講演会in和歌山」には、大型台風の
接近にも関わらず100人を超える方が参加され、
盛況な講演会となりました。

講師の林靖二先生(元和歌山済生会病院院長)
は、「元気に長生きし、安らかに死ぬために～大腸
がんになった医者の話～」というテーマで、ご自
身が大腸がんになられて、それまで以上に食事、
運動に気を使っていることや、現在もストマ(人
工肛門)をしながら富士山にも登山したという前
向きで力強い生き方を熱く話され、会場に共感と
感動を与えました。

2部では、和歌山県の受容協力医師である坂口
健太郎先生、安川修先生に長尾和宏支部長を加え、
会場とのクロストークが行われました。「尊厳死を
叶えるためにはどうすればいいんですか」との質
問には、「市民の皆さんも、これからは病院や医
者を選ぶ勉強が必要になってきます」との本質に迫
る回答も、大らかなユーモアに包まれて語られま
した。来場されたみなさんも、本音で聞きたいこと
を聞いて帰れた有意義な講演会となりました。

第11回 岐阜地区リビング ウイル懇話会 in 岐阜

日程◎2月17日(日)午後1時半～4時
会場◎ハートフルスクエア G大研修室
☎058-268-1050
岐阜市橋本町(JR岐阜駅隣接施設)

講演◎「人生の終末期を自分らしく迎える
ために——アドバンス・ケア・プランニングを
3者(患者、家族、医師)で」

講師◎平川仁尚
名古屋大学大学院医学系研究科准教授
定員◎120人

日本医師会生涯教育認定講座

後援◎岐阜県医師会、岐阜市医師会、中日新聞

地域サロンへのお誘い

日程◎2月26日(火)午後1時半～3時
会場◎名古屋市南中村区の青木記念ホール
(地下鉄中村公園駅から徒歩5分)

終末期医療、在宅介護などを語り合いませんか。
希望者は支部までご連絡ください

公開講演会

日程◎1月27日(日)午後1時半～3時半(1時開場)
会場◎広島県民文化センター 5階502号室
広島市中区大手町1丁目5-3

テーマ「あなたにとって老衰とは
なんですか？」
～できれば老衰でさようならしたい～

講師◎土手慶五 広島市立安佐市民病院
副院長・循環器内科主任部長

定員◎先着100人。予約不要。

中国地方支部 活動報告

HPでお近くの受容協力医確認を

2018年は、10月末で鳥取県1施設、島根県2施
設、岡山県50施設、広島県5施設、山口県37施設の

東海北陸支部 活動報告

40人近い理容師さんを前に講演

日ごろ、散髪をお願いしている理髪店のマス
ターから「よく口にされている『尊厳死』について
一度、同業仲間にも話していただませんか」と
依頼を受け、即刻、OKしました。

愛知県理容組合名東支部の皆さんは、毎年、秋
季セミナーを開き、保健所や消防、警察などから
業務に関する衛生上の話、防犯、防火の注意など
を聴いているそうです。しかし、最近では「いつも
同じ話だなあ」の声が出るようになり、尊厳死協
会の客の私に出番がまわってきたという次第です。

企画の段階で「重い話」という声もあったよう
ですが、マスターが「高齢社会。終末期問題は避け
て通れないんだぞ」のひと言で実現しました。会
場には40人近い理容師さんたち。終わった後の感
想は「お決まりの話よりよかった」「本人の意思と
いうが、家族の意見は無視できないよなあ」「そこ
が今回の講演のキーポイントなんだぜ」などだっ
たそうで、出前講座の新分野開拓の必要を教えら
れました。(支部長・小林 司)

合計95の医療施設に、受容協力医の新規登録を
いただきました。1施設に複数の医師が在籍をさ
れている施設もあります。支部の今年度の目標と
しては道半ばといったところですが、今後は鳥取
県に注力し、受容協力医を一人でも多く登録いた
だけるよう活動していきます。

受容協力医の新規登録や変更などは年4回発
行の会報誌で紹介しておりますが、お近くの医師
をご確認いただくのは、ホームページ(HP)が便
利です。支部→中国地方支部→患者の思いを尊重
するリビング・ウイル受容協力医リスト、とクリッ
クしていただき、パスワードとして半角小文字で
jsdd(ジェイエスディーディー)と入力ください。
受容協力医の先生にはホームページへの掲載を
希望されない方もいらっしゃいますので、もしリ
ストに掲載がない場合は支部までお問い合わせく
ださい。

尊厳死協会中国地方支部内のLW受容協力医リ
ストについての確認URLは以下です。[http://www.
songenshi-kyokai.com/branch/chugoku/login.
html](http://www.songenshi-kyokai.com/branch/chugoku/login.html)

ふくおか公開講演会

日程◎2月9日(土)午後2時～4時
(開場1時半)

会場◎天神ビル11階9号会議室
福岡市中央区天神2丁目12-1
(☎0120-323-920)

講演1 人生の最終段階における医療とケア

～終末期をより豊かに生きるには～

講師◎原 信之 尊厳死協会九州支部長・
国立病院福岡東医療センター名誉院長

講演2 ユーモア精神に溢れ、人と共に生きる、リハビリテーションを目指して

講師◎竹之山利夫 尊厳死協会ふくおか役員・
遠賀中間医師会おかざき病院院長

定員◎120人(無料、予約不要)

後援◎福岡県医師会、福岡市医師会

化とガイドラインの問題、延命措置の説明、尊厳死と緩和医療の関係等が具体的に説明されました。特に、元気なうちにLWをもっておくことの重要性と、死を考えることは、いい生き方につながるということが強調されました。

講演2のテーマは「人生の最終段階における意思決定支援」。小野隆宏・ハートクリニック院長が、過去の安楽死事件を提示し、医師の倫理観の変化(延命至上から尊厳を保つ医療へ)、終末期医療でのパラダイムシフト(キュアからケアへ)が述べられました。さらに在宅医療・看取り、意思決定支援の現状等を、多くの事例と経験を踏まえて詳細に説明されました。ことに、患者、家族、介護職員、医療者の連携と、時間をかけた十分な話し合い(ACP)の重要性を強調。法制化の論議にも触れましたが、ガイドラインに沿った丁寧なACPが行われれば訴訟事件は起こらないこと、患者の権利保護と医療者の法的安定性保護を両立し、尊厳ある生と死を考えていくことが必要であることが述べられました。

参加者からは、ガイドラインの目的は医療費の削減なのか、LWがあれば家族の意見の食い違いは防げるのかななどの質問があり、関心の高さがうかがわれました。また今回は緩和ケア研究会、看護協会などの後援を得ていたためか、医療関係者の出席も多く充実した講演会となりました。



九州支部 活動報告

質疑に表れた高い関心

10月20日に大分県中津市で行われた「第19回市民公開講演会」には、100人ほどの参加者がありました。

講演1では、川野克則・尊厳死協会おおい理事でオアシス第二病院院長が、「穏やかな死を迎えるために必要な準備は？」と題して話されました。理想的な人生の終い方はどうあるべきか、安楽死と尊厳死の違い、リビングウイール(LW)法制

地域のみなさんへ

リビング・ウイール「出前講座」はいかがですか

- ご依頼により講師を派遣します
- 会場のご用意をお願いします
- お問い合わせは支部までどうぞ

医療相談
(通話無料)

0120-979-672 月・水・金曜日
午後1時～5時(変更あり)

病気や気になる症状、特に終末期にかかわる不安や悩みについて、相談員(看護師)が丁寧にお聴きし、皆さま自身が主体的に考えて解決できるように支援しています。

協会宛メール(✉info@songenshi-kyokai.com)でも受けつけております。

一般公開講演会

日程◎1月26日(土)午後1時半～3時
会場◎愛媛県美術館講堂(松山市堀之内)

講師◎中城 敏 砥部病院 院長

テーマ 病院での看取りについて
～終末期医療の現場から～

無料・事前予約不要。お誘い合わせのうえお越しください

高知講演会

日程◎2月3日(日)10時～12時

会場◎近森病院管理棟3階会議室
高知市北本町1丁目1-28

テーマ
人生の最終段階において本人の意思に基づく医療・ケアが行われるために、どのような準備が必要でしょうか

講師◎北村龍彦 四国支部副支部長・高知代表
近森会近森病院理事

懇談会◎

「私の希望表明書・生前の指示(リビングウイール)を書いてみよう。一緒に考えましょう。尊厳ある生き方と尊厳ある死を迎えるために

司会◎小松倫子 四国支部・高知協力者
訪問看護ステーション土佐所長

一般公開入場無料。どなたでもどうぞ。

市民公開講座(徳島)

日程◎2月16日(土)10時～12時(開場9時半)

会場◎四国大学交流プラザ 徳島市寺島本町西
2丁目35-8(徳島駅から徒歩5分)

講演1 人生の最終段階における医療・ケアの意思決定プロセスに関するガイドラインについて

講師◎寺嶋吉保 四国支部徳島代表

特別講演

どうすれば穏やかな最期が叶うのか

講師◎長尾和宏 長尾クリニック院長・
尊厳死協会副理事長

申込◎氏名、住所、電話番号、会員・非会員を記入のうえ、ハガキまたはファクスで。〒770-0942 徳島市昭和町4-22-8。FAX 088-625-0936。☎088-652-1045。

コムズフェスティバル
「市民企画分科会」

日程◎2月3日(日)午後1時～3時

会場◎コムズ(松山市男女共同参画推進センター)
4階視聴覚室 松山市三番町6丁目4-20

講師◎野元正弘 四国支部長

テーマ 苦しまず、家族を困らせないで
逝くには?一緒に考えましょう。

松山市主催のフェスティバルに参画し、講演と座談会形式の興味深い内容です。(先着60人)

支部サロン

喫茶去だんだん

お茶を飲みながらの歓談です。

日程◎1月11日、2月1日、3月1日

趣味あれこれ会

絵手紙教室を楽しみましょう。無料。どなたでも歓迎。

日程◎1月18日、2月15日、3月15日

いずれも金曜日、午後1時半～3時半、
支部事務所(松山市大手町)

「辞世の句」受賞作品

俳句 八木健賞

漂うにあらずひた行く芒原

松山市 上野孝司

俳句 支部長賞

雲の峰君の迎えに紅を引き

松山市 日野千秋

川柳 八木健賞

現世に徳を積むには未だ遠く

松山市 吉川正紀子

川柳 支部長賞

俺が先 私が先よとはや十年

松山市 島津勝善

短歌 支部ガールズグループ賞

賜りしいのちなりけり癌に生き

終の旅路を安らかに待つ

高松市 中尾敏夫

これからの生き方や行く末を考える機会として公募したところ、沖縄から千葉県まで多くの方から作品が寄せられ、9月16日に松山市で開催された「日本LW研究会四国地方会」で全作品と受賞作品を発表し、表彰を行いました。

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
猪木医院	内	猪木篤弘	岡山県笠岡市十一番町1-7	0865-62-3737
福嶋医院	内・消・リハ・外	福嶋啓祐	岡山県浅口市寄島町3072	0865-54-3177
平山内科整形外科クリニック	内・整・脳外・神内	平山 東	岡山県笠岡市吉田 37-2	0865-65-1110
菅病院	内・循	溝口博喜	岡山県井原市井原町124	0866-62-2831
洗心堂 宮島医院	内・小	宮島啓人	岡山県真庭市月田6840	0867-44-2403
ほかま医院	内	外間朝夫	岡山県浅口市金光町占見新田1166-1	0865-42-6616
飛翔会 鴨方クリニック	内・胃腸・循・小	岩野英二	岡山県浅口市鴨方町深田991-1	0865-44-2602
イケヤ医院	内	池田文昭	岡山県真庭市久世2926-3	0867-42-0122
前原医院	内・外・泌・リハ	前原 進	岡山県真庭市中島392-3	0867-42-5267
哲西町診療所	内・小・放	土井浩二	岡山県新見市哲西町知3604	0867-94-9224
哲西町診療所	内・小・放	佐藤 勝	岡山県新見市哲西町知3604	0867-94-9224
哲西町診療所	内・小・放	岡 正登詩	岡山県新見市哲西町知3604	0867-94-9224
呉記念クリニック	外	栗原 毅	広島県呉市阿賀北3-4-11	0823-72-3030
近藤医院	内	近藤栄作	山口県岩国市美和町佐坂370番地1	0827-95-0070
平生クリニックセンター	外	西 健太郎	山口県熊毛郡平生町大字平生町字角浜569-12	0820-56-9760
淳心会 岩本医院	内・小・循	岩本 浩	山口県岩国市周東町下久原2480-1	0827-84-0011
安本医院	外	安本忠道	山口県大島郡周防大島町土居922	0820-73-0822
佃医院	内	佃 邦夫	山口県光市虹ヶ丘1-13-10	0833-71-0816
野見山内科医院	内	野見山正寿	山口県下松市美里町3-4-5	0833-41-2248
岐陽内科	内・消内・糖尿病内	武居道彦	山口県周南市栄町2-41-2	0834-21-0839
岩本医院	内・外・脳外	岩本直樹	山口県周南市須々万本郷356-3	0834-87-2525
杉山内科小児科医院	内	杉山知行	山口県防府市佐波1-3-10	0835-23-7104
桃崎病院	消・総合診療	桃崎和也	山口県下関市田中町1-10	083-232-2533
茜会 昭和病院	内	佐柳 進	山口県下関市汐入町35-1	083-231-3888
吉利医院	内・循	吉利用和	山口県下関市後田町1-8-17	083-222-1039
おおむら内科医院	内・胃腸	大村良介	山口県下関市長府待町2-5-5	083-245-6789
なかはら外科医院	外・胃・整	中原泰生	山口県下関市安岡駅前1-10-27	083-258-0257
素心会 神徳内科	内・呼内・循内	神徳 濟	山口県山口市下市町11-5	083-924-3780
田村医院	内	田村博子	山口県山口市葵1-4-73	083-922-7527
山口若宮病院	内	岡山 彰	山口県山口市下小鯖1522	083-927-3661
おかむら医院	内・消内・放	岡村 均	山口県山口市小郡下郷2193-2	083-973-2053
山岸内科	内	山岸 隆	山口県山口市小郡新町6-5-3	083-972-2788
多田内科呼吸器科	内・呼内	多田利彦	山口県山口市泉町8-21-1	083-934-5551
山口嘉川クリニック	内・リウ・アレ	田村 周	山口県山口市嘉川1360-3	083-988-0788
阿知須共立病院	内	作村俊浩	山口県山口市阿知須4841-1	0836-65-2200
阿知須共立病院	外	工藤明敏	山口県山口市阿知須4841-1	0836-65-2200
阿知須共立病院	内	三好正規	山口県山口市阿知須4841-1	0836-65-2200
三井外科医院	外・胃・整・肛・リハ	三井俊明	山口県宇部市昭和町4-4-16	0836-21-5111
佐藤クリニック	内・心臓内科	佐藤育男	山口県宇部市常磐町1-4-25	0836-32-7500
山本内科	内	山本 徹	山口県宇部市北琴芝2-12-12	0836-21-1580
ひらき内科	内・神内・リハ	山本浩二	山口県宇部市開1-3-3	0836-22-8808
西村内科医院	内・消内	西村公一	山口県山陽小野田市西高泊586-1	0836-84-6080
小野田赤十字病院	外	佐藤智充	山口県山陽小野田市大字小野田3700	0836-88-0221
わたぬきクリニック	内	綿貫篤志	山口県萩市東浜崎町53番地	0838-25-2020
めづき医院	外	売豆紀雅昭	山口県萩市土原370-1	0838-22-2248
市原内科皮膚科	内・皮	市原 巖	山口県萩市塩屋町21番地	0838-22-0184
天野内科胃腸科医院	内	天野秀雄	山口県長門市東深川12010-1	0837-22-2210
藤井クリニック	内・麻	藤井之正	山口県下関市豊北町滝部3146番地の2	083-782-0566
鳴見台山中クリニック	外・内	山中静夫	長崎県長崎市鳴見台1-28-5	095-814-1171

【受容協力医師についてのご案内】

全国に1900人ほど登録しているLW受容協力医師のお名前は、協会各支部のホームページ(HP)で閲覧することができます。各支部HPへのアクセスは本部のHPからのリンクをご利用ください。**会員専用認証パスワードは「jsdd(半角小文字)」です。**紙に印刷した受容協力医師リストをご希望の方は、各支部にご連絡ください。ファクスか郵送でお送りいたします。

LWの受容協力医師

第94報

2018年9月～2018年11月の間に新しく登録なされた医師の方々です。

内:内科 循:循環器科 呼:呼吸器科 消:消化器科 外:外科 整:整形外科 小:小児科 放:放射線科 精:精神科 麻:麻酔科
リハ:リハビリテーション科 リウ:リウマチ科 皮:皮膚科 肛:肛門科 泌:泌尿器科 心内:心療内科 脳外:脳神経外科 アレ:アレルギー科

[会員医師は☑とする]

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
順天堂大学医学部附属練馬病院	救急・集中治療科	小松孝行	東京都練馬区高野台3-1-10	03-5923-3111
川地サテライトクリニック	家庭医療	一戸由美子	東京都武蔵野市吉祥寺北町1-3-12	03-3339-0808
くぬぎ山ファミリークリニック	内・在宅診療	細田 亮	千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山4-2-40 ワコーレ鎌ケ谷1号館1F-2	047-712-1511
千葉大学医学部附属病院	脳外	佐々木みなみ	千葉県千葉市中央区文鼻1-8-1	043-222-7171
豊田内科医院	内	豊田武久	群馬県前橋市上小出町1-30-1	027-234-1223
さつきホームクリニック	内・外・緩和ケア内	月永洋介	栃木県宇都宮市花園町17-1	028-688-0456
在宅ほすびす	緩和ケア内	渡辺邦彦	栃木県塩谷郡高根沢町宝積寺1105-3 花舎L棟	028-688-7005
愛知国際病院	外・緩和ケア	太田信吉	愛知県日進市米野木町南山987-31	0561-73-7721
西岡内科在宅クリニック	内・皮・救急	西岡伸明	兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-1-56	072-766-9919
ウエルフェア北園渡辺病院	神内	日笠親績	鳥取県鳥取市覚寺181	0857-27-1151
にしまち診療所悠々	内・外・リハ	岸 清志	鳥取県鳥取市西町5-108	0857-25-6523
ふくいちクリニック	内・脳外・神内	青戸一伯	鳥取県米子市福市1668-7	0859-26-6777
岡空小児科医院	小・アレ	岡空輝夫	鳥取県境港市浜ノ町127番地	0859-47-1234
医新会 よろずクリニック	内・消	萬 憲彰	鳥取県鳥取市美萩野1丁目118-4	0857-59-0433
岡山中央病院	放	金重総一郎	岡山県岡山市北区飯島北町6-3	086-252-3221
愛咲会 まえだ診療所	内・小	前田典子	岡山県岡山市南区妹尾840-11	086-282-0812
平山医院	内	大森浩介	岡山県岡山市北区平山502	086-287-8464
森クリニック	内・神内	森 昌忠	岡山県赤磐市周匝728-1	086-954-4747
まつした医院	内・小・リハ	松下昭夫	岡山県瀬戸内市邑久町尻海7-1	0869-22-0006
小野医院	内・小・整・リハ・リウ	小野波津子	岡山県岡山市南区平福2-1-5	086-262-1127
あけぼのクリニック	内	平田 洋	岡山県岡山市南区築港新町1-7-28	086-902-2211
たかはしクリニック	精・心内・内	高橋理枝	岡山県岡山市中区湊491-2	086-277-1105
井村医院	内・小	井村 誠	岡山県岡山市中区平井5丁目6-19	086-274-8811
林道倫精神科神経科病院	精	林 英樹	岡山県岡山市中区浜472	086-272-8811
清陽会ながけクリニック	内	長宅芳男	岡山県岡山市中区中井454-1	086-207-6788
もみのき小児科クリニック	小	内山宙三	岡山県岡山市中区赤田14-2	086-273-8800
岡山ハートクリニック	内・循内	村上 充	岡山県岡山市中区竹田54-1	086-271-8101
よしおか医院	内・循内	森 淳	岡山県岡山市東区西大寺新地16-3	086-943-8778
十川医院	内・小	十川重次郎	岡山県岡山市東区西大寺中3-19-19	086-942-2016
薄元医院	内・胃腸	薄元亮二	岡山県津山市山北435-8	0868-22-2465
衣笠内科医院	内	衣笠信行	岡山県津山市椿高下39	0868-22-7811
おおうみクリニック	内・消内	大海庸世	岡山県津山市河辺933-3	0868-21-0033
鏡野町国民健康保険富診療所	内	寒竹一郎	岡山県苫田郡鏡野町富西谷119	0867-57-2009
医療法人こころ 勝北診療所	内・小	平井龍三	岡山県津山市杉宮14-2	0868-29-2324
渡辺医院	内・小	渡辺清一郎	岡山県岡山市南区彦崎2869-8	086-362-0363
倭文診療所	内	三谷 健	岡山県津山市里公文1674-1	0868-57-3028
平病院	内	平 資正	岡山県和気郡和気町尺所438	0869-93-1155
イマイクリニック	外・内・肛外	今井博之	岡山県倉敷市徳芳109-1	086-464-2000
伊木診療所	内・外	伊木勝道	岡山県倉敷市亀山775-1	086-429-2300
倉敷駅前診療所	外・整・リハ・漢方内	木曾昭光	岡山県倉敷市阿知2-14-8	086-441-7337
茶屋町在宅診療所	訪問診療(内・精神)	亀山有香	岡山県倉敷市茶屋町360-12	086-429-0033
天城日曜診療所	内	仙田尚人	岡山県倉敷市藤戸町天城96	086-441-2135
多田皮膚科医院	皮	多田廣祠	岡山県倉敷市新田2750-5	086-426-7548
王子脳神経外科医院	脳外	胡谷 直	岡山県倉敷市児島下の町5-2-17	086-474-0111
和楽会 野上内科医院	内・消・リハ・外	野上和加博	岡山県倉敷市児島味野6-1-10	086-473-3356
恵和会 田嶋内科	内	田嶋憲一	岡山県倉敷市児島柳田町862番地	086-474-3310
医療法人エムピーエヌ 武田病院	外	武田晴郎	岡山県倉敷市連島町西之浦352-1	086-446-4141
倉敷リバーサイド病院	循内	土井 修	岡山県倉敷市鶴の浦2-6-11	086-448-1111
白髪胃腸科内科小児科	内・小	白髪宏司	岡山県倉敷市北畝2-10-20	086-455-5472
倉敷広済クリニック	内・リウ	小橋秀廣	岡山県倉敷市東塚5丁目4番16号	086-455-5111
玉島協同病院	内	進藤 真	岡山県倉敷市玉島柏島5209-1	086-523-1234

ご寄付ありがとうございました (敬称略)

2018年8月22日～18年11月19日にご寄付いただいた方々です。

伊東美子 10,000	堀米義孝・艶子 17,800	阪田美恵子 10,000	佐藤節子 10,000
能登谷 進 3,343	横瀬幸子 3,900	佐々木ヒサエ 2,800	匿名・埼玉県 3,000
目良ツヨ 10,000	吉田康子 3,000	下茂 繁 20,000	匿名・埼玉県 5,106
秋山 孝 1,000	黒沢侑子 1,000	鈴木 勝 3,800	匿名・東京都 20,000
宇山富士子 3,000	本間紀夫 1,000	鍋島シズ子 6,800	匿名・東京都 55,000
鈴木道子 2,000	木下ムツミ 1,900	原 時枝 150,000	匿名・東京都 411,809
田川隆夫 3,000	青山公要・孔子 9,900	木口登美子 2,000	匿名・神奈川県 8,440
棚橋トヨ 5,000	中田貴代子 8,000	小堀瑞江 5,000	【関東甲信越支部扱い】
青木安子 1,000	大田重子 4,000	西岡和美 2,646	稲葉八重子 10,000
梅原 明 2,000	河原和香子 17,002	黒田明美 49,422	原島光世 3,000
大野節子 5,000	森本和子 3,000	田中政次郎 6,000	成城大学馬術部OB 3,000
梶原寿恵子 10,615	市川八重子 2,294	中村かね子 4,000	匿名 5,000
原田とよ子 2,000	内田裕恵 10,460		
原 利子 5,000	小谷由紀子 2,000		
堀越恵子 12,400	笹井幸一・明子 10,000		

古平様、池田様に対し誤記載により深くお詫び申し上げます。
会報170号 古平美代子様からのご寄付10,000円を1,000円と誤記載
会報171号 池田孝一・みさ子様を池田孝一・ミドリ様と誤記載

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用ください。切手でのご寄付もお受けしています。いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添えください。

会報のメール配信登録のご案内

会報「リビング・ウィル」を メールマガジンとしてお送りしています

入会ご希望の方にお送りしております「入会のご案内」の中に、「リビング・ウィル」があります。その記入欄に、「氏名」「住所」とともに、2017年7月改訂版からメールアドレスをお書きいただく欄を設けました。

お書きいただく方はまだ少なく、会者の4割ほどにとどまっていますが、それでもメールアドレスの登録は3400件を超えました。その際に予告しておりました「会報のメールマガジン配信」を、2018年の会報7月号(6月25日配信)から開始いたしました。現会員の方で希望される方は、日本尊厳死協会のHP(ホームページ)からアクセスして、メールアドレスの登録をお願いします。ご登録次第、配信を開始いたします。

発行の目的

会員が必要とする情報を逐次配信する連絡ツールとしても活用します

登録のメリット

協会から送られる情報を共有し、会報をいち早く読むことができます

発行日と頻度

会報は1月、4月、7月、10月の各1日発行の年4回ですが、メールマガジンは前月の25日に配信します

料金

無料

会報をいち早く
読むことができます



四季の歌
冬景色



新春対談
松尾幸郎さん
岩尾総一郎 理事長
最期のあり方は
これでいいのか？

支部活動のお知らせと活動報告
明石のすみ・受容協及医の地域活動
連載「四季の歌」冬景色

出版案内 日本尊厳死協会がお勧めする必読の書。(書店では扱っておりません)



人生の最期で迷わないために 尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく説明しています。あなたの「？」に答えがあります。

- がんの末期 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す？
- 持続的植物状態 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら？
- 腎不全 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら？
- 救急医療 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは？
- 認知症 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は？
- 老衰 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か？

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562
メール
info@songenshi-kyokai.com
ホームページ
http://www.songenshi-kyokai.com/
郵便振替口座
東京00130-6-16468

●北海道支部

〒060-0807
札幌市北区北7条西2丁目6
37山京ビル801
TEL 011-736-0290
FAX 011-299-3186

●東北支部

〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-12-39
旭開発第2ビル703号室
TEL 022-217-0081
FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海北陸支部

〒453-0832
名古屋市中村区乾出町2-7
正和ビル2階
なかむら公園前法律事務所内
TEL 052-481-6501
FAX 052-486-7389

●関西支部

〒532-0003
大阪市淀川区宮原4-1-46
新大阪北ビル702号
TEL 06-4866-6365
FAX 06-4866-6375

●中国地方支部

〒730-0024
広島市中区西平塚町2-10
TEL 082-244-2039
FAX 082-244-2048

●四国支部

〒790-0067
松山市大手町1-8-16
二宮ビル3F B
TEL 089-993-6356
FAX 089-993-6357

●九州支部

〒810-0001
福岡市中央区天神1-16-1
毎日福岡会館5階
TEL&FAX 092-724-6008

※北陸支部は東海支部に統廃合されました

各支部HPへのアクセスは
本部HPからのリンクをご利用ください。

リビング・ウイル Living Will

(終末期医療における事前指示書)
(2017年7月改訂)

この指示書は、私の精神が健全な状態にある時に
私自身の考えで書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私
自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成
しない限り有効であります。

□ 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であ
り、既に死が迫っていると診断された場合に
は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延
命措置はお断りいたします。

□ ただしこの場合、私の苦痛を和らげるために
は、麻薬などの適切な使用により十分な緩和
医療を行ってください。

□ 私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物
状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめ
てください。

以上、私の要望を忠実に果たして下さった方々
に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要
望に従って下さった行為一切の責任は私自身にあ
ることを付記いたします。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ
りが近づいたら延命措置を望ま
ないで、自然の摂理にゆだねて
寿命を迎えるご自分の意思を表
した「リビング・ウイル」を発
行、その普及に努めています。
現在11万人の方々「リビン
グ・ウイル」を持ち、安心した
日々を送っています。自然のま
ま寿命を迎えることは、最期の
日々をよりよく生きること
であり、今を健やかに生きること
につながります。
お友だちやお知り合いに協会
や「リビング・ウイル」のことを
お伝えいただければと願ってい
ます。

事務局から

会費の自動払込のご案内 希望者はこちらご連絡ください

協会年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から
自動引き落とし)制度があります。利用には諸手続きがあり
ますので、ご希望の方は本部事務局まで連絡をお願いします。
次の要領で実施しております。

- 対 象 ▶ ご希望の会員
- 払 込 日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日
祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
- 払 込 額 ▶ 会費相当額
- 手 数 料 ▶ 1回の払込に162円(150円+税)の
ご負担があります
- 取 扱 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、
金融機関 ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領 収 書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印
字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可
能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の
納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷して
あります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も
記入して下さい。なお協会ではコンビニでの振り込みをお勧
めしております



今号の1枚
「赤、冴える」

Living Will 目次

— 会報2019年1月 No.172 —

- 02 年頭所感
 - 04 新春対談
松尾幸郎さん
岩尾總一郎 理事長
 - 08 死の権利協会世界連合理事に就任
 - 09 「私の希望表明書」の書面
 - 10 LW受容協力医師制度の展望
ルポ・明石のぞみ医師の思い
 - 12 ● LWのひろば
 - 14 ● 連載「四季の歌」冬景色
 - 16 ● 支部活動・報告
2019冬～春
 - 22 LW受容協力医師のリスト
 - 24 寄付
 - 25 メール配信登録のご案内
 - 26 事務局から／編集後記／目次
 - 27 終末期医療における事前指示書／
本部・支部一覧
- 裏表紙 出版案内

協会会員:10万9279人
(2018年12月3日現在)

次号は、
2019年4月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

●各界の著名人にご登場いただ
いている巻頭インタビュー(対
談の号も)ですが、今号は松尾
幸郎さん。お名前はあまり知ら
れていませんが、「尊厳死」の
活動では知る人ぞ知る方。交通
事故に遭い、験のまばたきだけ
になった妻を8年にわたって介
護し看取った日々は、書籍やテ
レビドラマにもなりました。そ
して今、82歳を迎え、日本から
娘や孫の住むアメリカの地方都
市へ移住しました。生まれ育つ
た地から望む立山連峰にも似た
山並みを望める、かの地。深く
胸に滲みる対談・人生です。
さて、新年がスタートしまし
た。平成から新しい年号の時代
へ。翌年に東京五輪を控え、何
かと気ぜわしさを予感させる年
明けです。一方で、「終活」「死
ぬ権利」「尊厳死」もいっそう
広く深く話題に上り議論される
ことでしょう。まさに会報冒頭
にある「問われる協会活動の真
価」の年でもあります。ともあ
れ、今年もよろしく願いたい
します。(郡司)

日本尊厳死協会の出版案内

1月下旬
発売予定

最期の望みをかなえる

リビングウイールノート

私の望む「痛くない死に方」がここにあります。



主な内容

- 尊厳死協会の会報「Living Will」のインタビューに登場された、小泉純一郎・元首相や脚本家の倉本聡さん、俳優の近藤正臣さん、秋野暢子さん、仁科亜季子さん、作家の北方謙三さんの名言を再録。
- 延命措置やACP(人生会議)など医療情報の解説や尊厳死協会の役割などのほか、「私の病気の記録」や「もしもの時の確認メモ」(健康保険証や基礎年金の番号など)、「終末期の最期の過ごし方の希望」「食べることができなくなった時の希望」……など、書き込むページや欄もたくさん詰まった**エンディングノートの決定版**。
- 「旅立ったあとで～大切な人へのメッセージ」や「旅立つ前に会っておきたい人」、「葬儀に呼んでほしい人」を書き込むリストの欄も充実

発行: ブックマン社
定価: 1100円(税別) A4判104ページ

この「リビングウイールノート」には、
あなたの「リビングウイール」を入れるスペースがあります。
是非お手もとにセットで!!
もしもの時にそなえ、こころの「生前整理」を